

けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI

2017.10

95

Vol.



一般社団法人

茨城県建築士会

建築作品紹介：野草舎「森の家」保育園

けんちく茨城

2017.10.5 第95号

- 1 新茨城県知事あいさつ
2 全国看板建築サミット
4 建築作品紹介：野草舎『森の家』保育園
6 ZEB（ゼロエネルギービル）見学会
8 ようこそフレッシュマン3名
10 先輩会員を訪ねて2名
12 まちづくり委員会 ガイドマップ
13 総務・企画委員会 大納涼会
14 会員委員会 ゴルフ・ボウリング大会
17 青年委員会 関ブロ青年「神奈川大会」
18 女性委員会 全国女性建築士連絡協議会
19 女性委員会 わくわくセミナー
(ショールームの見学会)
(市街化調整区域内に家を
建てなくてはならない
場合の申請)
(水回りについて)
21 女性委員会 ラブアークセミナー
(地盤について)
(県産材について)
23 日立支部 IGフェア見学とランチブッフエと
特別講演会
24 県央支部 水戸市庁舎見学会第1弾
(免震装置取付工事)

題字 表紙

大井川 和彦 茨城県知事
野草舎『森の家』保育園
設計監理 有限会社吉田建築計画事務所
所在地 茨城県鹿嶋市
建築面積 905.69㎡
延床面積 895.92㎡
構造・規模 木造2階建て

発行 次回 部数 発行

平成29年10月5日
平成30年2月5日予定
2,400部
一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸
〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F
TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0300
E-mail kyy05413@nifty.com

印刷

株式会社 高野高速印刷

新茨城県知事 あいさつ

活力があり 県民が日本一幸せな県を 目指して挑戦する県政へ

茨城県知事 大井川 和彦



このたび、建築士会の皆様方をはじめ、多くの県民の方々から力強いご支援をいただき、茨城県知事に就任いたしました。

柴会長をはじめ、建築士会の皆様には、日頃から建築文化の振興・発展はもとより、災害時の支援体制の強化など、県政の推進に格別のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

人口減少や少子高齢化が急速に進む中、本県の人口も、毎年約1万人減少しますとともに、県内の空き家も18万戸を超えており、地域の生活を維持しながら、いかにして厳しい地域間競争を乗り越えていくかが、何より重要となっております。

県といたしましては、「活力があり、県民が日本一幸せな県」を目指し、「安心安全」や「豊かさ」の実現、「人財」の育成や「夢・希望」の創出に、国としっかり連携し

ながら、市町村をはじめ、企業や団体、県民の皆様と一丸となって、新しい発想で挑戦していきたいと考えております。

茨城の未来が決まる重要な時期にあつて、建築士会の皆様が、市町村の空き家対策への支援、会員企業のスキルアップや県産木材の利用促進、寺社や古民家をはじめとした歴史的建造物の保全や活用など、幅広い分野で活躍されておりますことは誠に心強い限りです。

皆様方におかれましては、今後とも、茨城を躍動感あふれる魅力ある県としていくため、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

茨城県建築士会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈りいたしまして、就任にあたっての挨拶いたします。



2017 全国看板建築サミット

石岡支部 島田哲

平成29年7月16日(日)、石岡市で全国看板建築サミットが開催されました。午前10時より、まちなか散策。午後、藤森照信先生の基調講演と各都市代表者のパネルディスカッションというタイムスケジュールで開催されました。当日は非常に暑い日で、看板建築という名で、どのくらいの人が集まっていただけののか、私も市の担当者も心配をしていました。午前9時を過ぎた頃から、ポツポツと予想以上に人が集まりだし、10時前には、まちなか散策の出発地点(石岡駅と石岡市民会館)2ヶ所に大勢集まりすぎたので、時間より早く、石岡支部会員と歴史ボランティアの会の案内人と一緒に次々と出発しました。最後は案内人が足りなくなり、筑波大生にもお願いをしました。これを見ていた商店主の方が、石岡市のまちなかをこんなに大勢の人が歩くのは、お祭り以外で久し

ぶりに見たと、感想を言っておられました。まちなか散策で感じたことは、おもてなしが大切であること。とても暑い日だったので、水や麦茶などの休憩所が2、3ヶ所あると良かったと思います。また、ガイド役の知識がもう少しあった方が看板建築をアピールできたと思います。

食事休憩を挟み、午後は、「看板建築と近代日本の都市」という演題で、看板建築の名付け親でもある、藤森照信先生の基調講演がありました。次に、パネルディスカッションです。テーマは「復興100年を目指したまちづくり」。副題は、「20世紀初頭の都市復興遺産を活用して」です。コーディネーターは筑波大学教授の藤川昌樹先生、パネラーは、看板建築に縁が深い、青森県八戸市、埼玉県川越市、長野県諏訪市、兵庫県豊岡市、茨城県石岡市の5都市です。それぞれの都市が、まちの概要、大火の概要と復興の状況、建

設された復興遺産（看板建築だけでない）とその残存状況、保存・活用に関する取り組みなど、1都市10分という短い時間で発表がありました。次に、他のまちの紹介を聞き、自分のまちの特徴はどこにあるか？また、今後の課題は？などを議論しました。

看板建築をはじめとする20世紀はじめの1930年代のまちなみは、本格的な保存が図られていない。持ち主の高齢化等により、商店の取り壊しが進んでいる、などの課題が出ました。どのまちも、維持・保存には頭を痛めているのが現状だと思います。

また、石岡のまちなみの印象は？、石岡の今後へのアドバイスは？の問いに、パネラーの一人の方が、「関東屈指の町並みです。茨城の中でも、洋風の外観をした建築群として際立っています。

行政も応援できる素地ができつつあります。あとは、市民でしょうね。行政も、まちを愛する行政マン、五時以降は、市民活動ができる行政マンがそれなりの部署に配属されるといいですね」という貴重な意見を頂きました。

今回の看板建築サミット開催を機会に、一人でも多くの市民の方が、まちの宝である貴重な歴史的建造物を保存しようとする気持ちになっていたければ、幸いです。

余談になりますが、サミット終了後、遠方より来ていただいたパネラーの皆さんを囲んで、大懇親会が開催されました。壇上では、話せない裏話などで大いに盛り上がりました。2年後、兵庫県豊岡市でサミット開催を、私が勝手にお願いをして、第1回全国看板建築サミットを終了しました。

全国看板建築 サミットの 開催に参加協力

建築士会石岡支部
建築士会石岡支部長 和田 邦裕

平成29年7月16日（日）石岡市で開催されました「全国看板建築サミット」に石岡支部が参加協力してまいりました。今回の「全国看板建築サミット」の概要ですが、看板建築や復興建築など全国に存在する大正期～昭和初期の建築物を後世に残し、歴史的建造物の保全や継承を意識したまちづくりを目指していくことを目的に開催されました。参加された市は青森県八戸市、埼玉県川越市、兵庫県豊岡市、長野県諏訪市そして石岡市と五つの看板建築を有するところが石岡市に集まりました。

石岡支部の協力として、午前中に行われました「まちなか散策」に一般参加者の方と石岡支部

会員、行政の担当者、歴史ボランティアの方々と看板建築を有するまちなかを2時間程度散策しました。参加者の内には東京で設計事務所をしている方もおりまして自身が参加する「神楽坂建築塾」の活動状況を聞くことができました。メンバーで石岡市に再度伺いたいとお礼のメールまでいただきました。

散策後は市民会館にまちなか散策をされた方々、基調講演「看板建築と名づけた東京大学名誉教授 藤森照信氏」さらにパネルディスカッションを聞きに多くの方々が集まりました。参加された看板建築を有するまちの概要がそれぞれ説明紹介され、石岡支部からパネルディスカッションに参加した島田哲氏が石岡支部の活動状況、特に重伝建地区とのかかわりを中心に紹介し、石岡市内の看板建築について丁寧に説明してもらいました。その後パネルディスカッションに入りました。一日を通し一般の方々の多くの参加をいただき景観保全の必要性、重要性を参加者全員で再認識されたと思います。



野草舎『森の家』保育園

建築作品紹介

自然と共に生きる家

敷地は、北浦と鹿島灘の間にある鹿島台地に位置します。前面道路は、古社である鹿島神宮の杜へと続く古道であり、太古の昔から豊かな自然環境のもとで人々の暮らしが営まれてきた、そのような立地の中で、森の大樹に囲まれた保育園が計画されました。

子どもたちが五感を通じて自然とふれあい、共に生きることを実感しながら、創造性豊かに成長していく園舎を目指しました。

緩やかな弧を描く園舎は、既存樹木を保存した園庭と一体となって、子ども達をやさしく包み込みます。

【基本的な考え方】

①木造建築の園舎

可能な限り無垢材や自然素材を用いて、職人の手仕事が見える温もりある空間づくりとともに、地産地消の推進や本物に触れる環境づくりのために、茨城県産の木材を積極的に活用しました。

②風土に合った建築

陽の光や風をふんだんに取入れ、地域の気候や風土、暮らし方などと調和した空間で、子どもたちがいきいきと過ごせる園舎づくりを考えました。

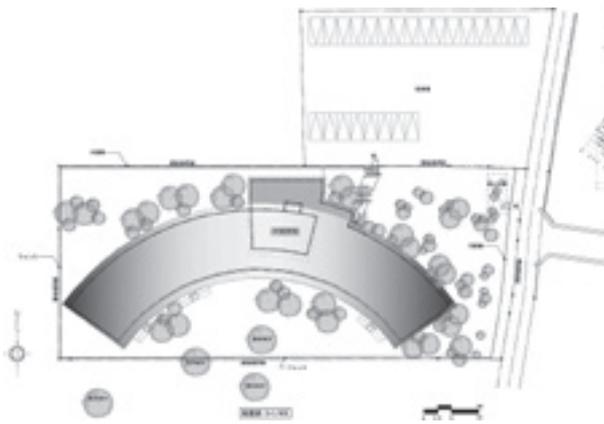
③自然との調和

園舎・園庭が周囲の森と調和した関係性を形成し、その一体的景観が子どもたちの原風景として心に刻まれる場を創出することで、「森の家」の具現化を目指しました。

【テーマ】

①意匠、構造、機能について

保育室、遊戯室、管理諸室といった必要諸室の集積の中で、既存樹木を取り囲むラウンドした園舎の形状によって、互いに見る見られる関係



野草舎『森の家』保育園
 所在地:茨城県鹿嶋市
 設計・監理:有限会社吉田建築計画事務所
 建築面積:905.69㎡
 延床面積:895.92㎡
 構造:木造2階建て



性が生み出され、園全体の一体感を創出します。

そして、この平面構成が素直に表出されたシンプルでリズムカルな木造架構によって、安全性とコスト削減の両立を実現しました。

②防災上、安全上、維持管理上への配慮

ラウンドされた平面構成によって、園舎の各部分からの園児たちの動きを見通せます。仕上材には、天井に木、壁に珪藻土（不燃）の自然素材で組み合わせ、健康面かつ防火対策へも配慮しました。南側に設けた雨掛かりのウッドデッキは、軒を深く出すと共に高耐久性の素材を用いて、維持管理の軽減を図りました。

③ユニバーサルデザイン

この園舎で目指したことは、使用上での自由度の高さと子どもたちや先生が直感的に行動できる視認性の高さによるユニバーサルデザインを考えました。

各園児室の間仕切りの半数は、建具によって構成され、目的に応じて広さを変更することができます。

園児室の南側は屋内の縁側として、ランチスペースに

も利用できる場を設えました。

また、各諸室を仕切る建具はガラスの框戸にすることで、視線が通り抜ける開放的な空間づくりとしました。

④周辺地域の景観形成やまちづくりに配慮されていること

この園舎は土台・柱・梁に茨城県産の杉・檜集成材、国産の唐松集成材を使用し、製作・加工を全て茨城県内で完結させ、コスト削減・運搬費削減・工期短縮に配慮しました。地場産業の振興と、職人技術の継承についても配慮します。

⑤自然環境への配慮

自然力の積極的な導入、太陽光発電の活用とともに、地場産木材の利活用によって生態系の保全の一助になることを考えました。

20年前に園長先生が植えられた4本の樺を保存し、地域の生態系にも配慮しました。園のシンボルツリーとして後世まで園を見守り続けます。



ZEB化実現に挑戦した 藤崎建設工業(株) 新社屋見学会

地球温暖化対策から日本のCO2削減目標を受けて、経済産業省は2030年までに建物の運用段階でのエネルギー消費量を、省エネや再生可能エネルギーの利用をとおして削減し、限りなくゼロに近づけるZEB（ゼロエネルギービル）の政策目標をかかげました。今回は中堅企業としていち早くZEB化に挑戦し実現した行方市にある藤崎建設工業(株)の新社屋見学会が6月17日(土)、7月1日(土)に行われました。のどかな田園風景の広がるなかに建つ、白い外壁とスカイ

ブルーのガラス面で構成された円弧型の外観は機能的なデザインです。主な間取りは1階は玄関ホール、役員室、事務室、会議室、2階は設計室、3階は大会議室、屋上には太陽パネルが設置され、日射追従型電動ブラインド、井水熱利用ヒートポンプ式空調システムの導入、太陽光発電、太陽熱給湯器、蓄電装置、LED照明制御、高反射塗料などが採用され、エネルギーの削減率が非常に高いZEBシステムを備えた建築物を見学することができました。



株式会社 相澤建築設計事務所

代表取締役 相澤晴夫

(一社)茨城県建築士事務所協会会員

(一社)茨城県建築士会会員

〒300-1256 つくば市森の里1169-2

TEL (029) 876-0617 FAX (029) 876-0679

雨。
その一滴が、
建物に大敵。

業務案内 ●一般建築、中高層ビルに関する防水全般

●雨漏り、水漏れ調査及び施工

●外壁吹付工事（割れ補修）

●各種工事に関するメンテナンス

植田防水工業株式会社

本社:水戸市八幡町10-71 TEL 029 (227) 4181 FAX 029 (225) 3201

<http://www.uedabousui.com>

メールアドレス JDT06321@nifty.ne.jp

建築設備設計・監理 (一社)日本設備設計事務所協会加盟
(一社)茨城県設備設計事務所協会加盟

株式会社 菊地設備設計事務所

代表取締役 菊地 繁

事務所/〒310-0031 茨城県水戸市大工町3-4-24

TEL 029 (227) 2725(代)

FAX 029 (227) 2744

早さと正確をモットーに
より美しく、より創造的なプリントワークをめざして

センター印刷株式会社

水戸市柳町1丁目1番1号 〒310-0817

TEL 029-224-4535 FAX 029-225-5007

Welcome Freshman!!

- ①入会の目的
- ②建築士会に期待する活動・参加したい活動
- ③建築士として将来の目標



下川 泰佳
支部名：日立支部

- ①はじめまして。お世話になっている方の紹介により、日立支部に入会いたしました下川と申します。
- ②現在は、福島県いわき市でインテリア・内装関係の会社に勤めております。
- ③初心者ですが、マラソンが趣味で将来ホノルルマラソンに挑戦してみたいです。
- ④2級建築士を取得したものの建築士としての仕事はしていませんが、みなさまからの刺激を受けながら少しでも知識を深めるために情報交換や勉強の場として活用できればと思い入会を決意いたしました。
- ⑤これから様々な方々との交流を通して、講習会や研修等参加できることを楽しみにしております。
- ⑥まだまだ未熟者ではありますが、いつか地元で社会貢献できることを目標として日々精進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



大石 桂
58歳
支部名：土浦支部

- ①大石 桂 年齢は58歳になったばかりです。土浦支部
- ②土浦市内にある増山栄建築設計事務所に勤務しています。事務所内では、公共施設建築の新設、改修等の実施設計・監理業務を行っています。
- ③増山栄建築設計事務所に勤務して、現在で6年になりますが、それ以前は千葉県の建築設計事務所に29年程度勤務し、退職して茨城県内の他の設計事務所に勤務しましたが、実は会社等の都合で茨城県建築士会への入会は、これで三度目になります。今回こそは三度目の正直で頑張りたいと思っております。
- ④講習会・セミナー・見学会等に参加し、自分の知識等を高めたいと思っています。
- ⑤上記に表記したように講習会、新築・施設等の見学会に参加したいと思っています。
- ⑥今までいろいろな物件にたずさわって、その都度色々な経験、知識等を学んだつもりですが、今だに分からない事や建築分野等で変化してきていますので、これからも学ぶことが多々あると思っています。又、色々な経験をし、自身のスキルも上げたいと思っております。よろしくお願いいたします。

- ①廣瀬 純子 土浦支部
- ②増山栄建築設計事務所勤務
- ③設計事務所で公共、福祉等の物件の設計業務をさせて頂いております。
- ④職場で入会のすすめがあり、入会させて頂きました。
- ⑤講習会、セミナーなどに参加し、より知識を深めていきたいと思っております。
- ⑥講習会等で知識をつけながら、今後とも建築の仕事が続けていければと思います。



廣瀬 純子
支部名：土浦支部



MATSUMOTO-SOUKEN

株式会社 **松本総建**

代表取締役会長 **松本 一幸**

— 特定建設業 — 茨城県知事許可(特-24)第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉 410-2
TEL 029-295-7715 (代)
FAX 029-295-6548

本 社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田 2-9-5
営 業 所 〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師 3891-6
第一機材センター 〒311-4203 茨城県水戸市上国井町字南台 3669-1
第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗 1195-1
第三機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉 407-1

- 〈 営 業 内 容 〉
- 枠組足場工事
 - 足場提案企画
 - 土木工事
 - 外構工事
 - 建築土工事
 - くさび式先行手摺足場
 - 鉄骨建方工事

創業330年の実績 安全・安心・快適な住空間をご提案



株式会社 奈良屋

代表取締役社長 **横山 昌弘**

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町600-15

TEL 029-241-5141 FAX 029-305-8733 <http://www.naraya-corp.co.jp>



ホームズ君 構造EX Ver.3

長期優良住宅

耐震等級 2・3

許容応力度 計算

木造 3階建て

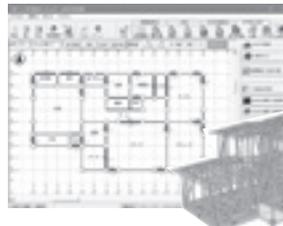
中大規模 木造建築

トラス 構造

wallstat 連携

公益財団法人日本住宅・木材技術センター
【木造建築物電算プログラム認定】

木造軸組構法の平屋から3階建てまで対応の構造計算ソフトです。令第46条の壁量計算や偏心率・N値計算をはじめ、長期優良住宅で求められる耐震等級2・等級3の判定、住木センターのグレード本（2017年改訂版）に準拠した許容応力度計算がこのソフト1本で行えます。



データ連携



簡単操作で wallstat での倒壊解析シミュレーションが可能

ホームズ君製品に関するお問い合わせ・体験版プログラム・お得なオンラインショップキャンペーンは

0120-9876-68 (受付時間 平日9:00~18:00)
www.homeskun.com

ホームズ君

検索

クリック!

INTEGRAL®

株式会社インテグラル
株式会社インテグラルテクノロジー 茨城県つくば市東2-31-18

業務内容

- ヘーベル (旭化成)
- ベースパック (旭化成)
- アスロック (ノザワ)

株式会社 埴商事

〒319-1414 日立市日高町1丁目6番37号
TEL 0294-42-4090 FAX 0294-43-7392
E-mail:hanawa-shouji@smile.ocn.ne.jp

先輩会員 を訪ねて



先人に学ぶ事の大切さ 「極意の伝授は いつの世も口伝」

篠原 武司 氏 (北茨城支部)
昭和18年生まれ / 昭和41年入会 / 会員歴51年

東京にて建設会社を経営していた義兄の影響を受け大学では建築を専攻し、昭和41年3月卒業と同時に4月から北茨城市役所に奉職建設課への配属となり、公営住宅等の設計・工事監理、建築行政等を主に担当し、平成16年3月定年退職の後、(株)須藤工務店を経て平成19年3月から(株)安心確認検査機構に勤務、現在に至っております。

昭和41年12月入会、平成16年10月23日17時56分に発生した、M6.8の新潟県中越地震時には、11月14日、15日の両日県本部派遣の「被災地住宅相談キャラバン隊」に参加、貴重な体験をすることが出来ました。会計理事、常任理事、副支部長を経て平成26年5月支部長に就任。

—北茨城支部長としての抱負

設計、工事監理、行政、施工等々多種多様な分野にわたり、年代も老若男女が携わる建築界にあって、唯一の共通点は建築士の免許所持という特異な団体であり、多くの先輩方若い世代の方々と交流の出来る特殊性は、必要な情報は瞬時に入手出来る現代社会にあって、貴重な存在の団体であり、会員相互が気軽に集まって来れる、親睦団体的な支部にして行くことが、これまでご指導を頂いてきた先輩諸氏への御恩返しの一環であると考えております。

—後輩へメッセージ

この情報化時代において、必要な情報はいつでも入手できるかもしれませんが、「知識」に「こころ」が加わらなければ「わざ」にはならないと思います。先輩諸氏にはそれぞれに、少し大げさに言えば極意を持っておられます。それは絶対にデータベース化出来ない部分であり、人と人との繋がりの中での口伝以外には絶対に伝わらないものであると思います。この様に貴重な方々といろいろな活動をとおして交流し先人の残された「わざ」を受け継ぎ後世に伝えるために、常に原点を見つめながら共に研鑽して参りましょう。



私を成長 させてくれた 建築士会

木村 千明 氏 (久慈支部)
昭和29年生まれ / 昭和54年年入会 / 会員歴36年

私の建築士会入会動機は、その当時野球やソフトボールを盛んにやっていたので、建築士会でも地区予選から県大会までであると聞いて、昭和54年に2級建築士を取得してすぐに入会しました。3年目で準優勝して、優勝するまでに7年ぐらいかかりましたがその時に皆で祝杯を挙げたのが昨日のように思い出されます。平成4年に久慈支部青年部長となり、県の青年部長会議に出席して同年代の各支部青年部長と意見交換をし、懇談会を何度か行いました。それまで支部の会合や地元で行われている他会の集まりにはいろいろ出席していましたが、広範囲の人が集まると考え方の違いや行動範囲の広さに驚き、自分の視野の狭さを痛感しました。でも、その2年間は今考えても大きな意味を持つ2年間のような気がします。

—久慈支部長としての抱負

現在支部長になり4年目ですが、支部の活性化のために何をすれば良いのか悩み続けています。ただ、毎年退会者が出て減少の一途を辿っている中で、女性部は県の女性委員会との連携もあり活発に活動しています。子育てメッセで段ボールハウスを作ったり、常陸そばフェスタの時に県から支給された苗木を配り建築士会の啓発活動に努めているところです。そうした活動により支部全体としての活性化ができればと思っています。

—後輩へメッセージ

苦勞してせつかく建築士になった訳ですから、ただ会費だけ払っていたのではもったいないです。この会でしか出会いない人、知りえない事いろいろ有る筈です。メリットがないのではなく目線を変えれば多くのメリットが潜んでいます。勇気を出して一度イベントや行事に参加してみてください。必ず自分を成長させてくれると思います。

建築物の足もとを揺るぎないものにするための 「支持力」を提供します。

■パイル製品

高支持工法に対応 $F_c=105\text{N/mm}^2$ $F_c=123\text{N/mm}^2$ シリーズ杭
(PHC ST SC PRC 拡張杭 節杭 ※厚型・特厚型も対応)
PHC ST SC DAM BF(摩擦杭)その他

■認定工法

Hybridニーディング工法(施工品管理強化高支持力工法 $\alpha=336\sim 880$) ●特認工法
Hybridニーディング工法II(施工品管理強化高支持力工法 $\alpha=350$)
SUPERニーディング工法(さらに支持力が大幅UP/ $\alpha=600$)
SUPERDANK工法(中掘) $\alpha=425$
ニーディング工法 DANK工法(中掘)BFK工法



三谷セキサン株式会社

東京本社 〒111-0052 東京都台東区柳橋2-16-9 TEL.03-5821-1122 FAX.03-5821-1123

茨城営業所 〒310-0062 茨城県水戸市大町3-1-26 TEL.029-221-7768 FAX.029-221-7749

※設計のお手伝いもいたします。(是非お試しください)

<http://www.m-sekisan.co.jp>



有限会社

吉田建築計画事務所

一級建築士事務所

Yoshida Architects Design Office

本社 〒315-0001 茨城県石岡市石岡 1-1-8

TEL. 0299-56-3246 FAX:0299-56-3248

つくば事務所 茨城県つくば市千現 2-1-6

TEL.029-854-0203

Web : <http://www.iezukuri.co.jp>

建築士のみなさん 免許を提示して いますか？



設計または工事監理の受託契約に関する重要事項説明の際、
建築士の「免許証明書」もしくは「免許証」の提示が義務付けられています。

「体感ルート・ガイドマップ」について

平成19年より、茨城県に残る“むかしの家”を再評価し、その魅力を多くの方に知ってもらうための「“常陸国のむかしの家”体感ルートマップ策定プロジェクト」を実施し、各地区の代表的な建物やエリアの特徴などをまとめて、冊子を発刊してきました。第1弾「筑波山麓編」、第2弾「八溝山麓編」、第3弾「鬼怒川水系編」、第4弾「水戸街道・筑波編」、第5弾「陸前浜街道・常磐編」です。

各地に残るむかしの家々は、その当主の方々が先人たちの豊かな暮らしの知恵を継承しながら、手間と愛情をかけて守り続けられています。この冊子がきっかけとなって、地域の人々の暮らしとともにあり続ける歴史的な建物の魅力・価値を見出し、あらためて自らの住む地域の魅力に目を向けることにつながれば、という思いで作成しております。

まだまだ紹介していない地域が残っております。第6弾は、常総・取手を中心とした県南西編の発刊を予定し、只今準備を進めている最中です。来年度早々には皆さまに公表できることを目指しておりますので、楽しみにしていらしてください。





・ご来賓のみなさま



衆議院議員 田所嘉徳氏



水戸市長 高橋靖氏



県議会議員 海野透氏

式次第

- 開会の言葉
- 主催者あいさつ
- 来賓あいさつ
- 来賓紹介
- 乾杯
- 中締め



茨城県建築士事務所協会・茨城県建築士会 合同開催

大納涼会

平成29年7月28日(金)17:00～
水戸市・ホテル テラス ザ ガーデン 水戸

夏の恒例行事となった第7回大納涼会が7月28日(金)「ホテルテラスザガーデン水戸」において開催された。

本年度も茨城県建築士事務所協会との合同開催をなつた。今年は来賓、会員、賛助会員、建築士事務所協会からの参加者を含めて約230名の参加があつた。

両会を代表して茨城県建築士会柴会長から挨拶があり、続いて来賓から高橋靖水戸市長、海野透県議会議員、西野一県議会議員などよりそれぞれ挨拶をいただいた。

また、県の建築三課より建築指導課小沼課長、営繕課鈴木課長、住宅課海老沢課長にも出席をいただいた。

その後、茨城県建築士事務所協会横須賀会長より乾杯の発声があり祝宴に入った。

昨年と同様今年も、来賓及び建築士会、建築士事務所協会の正会員、賛助会員が交流を図るこの会は、たいへん有意義なものとなつた。

祝宴は盛況のうちに進み、和知賛助会副代表幹事の中締めにより会は終了した。



第27回 チャリティーゴルフ大会開催 急遽「特別賞」も加わり、 パーティーは例年以上に大盛り上がり！

平成29年6月22日(木) 富士カントリー笠間倶楽部

恒例行事の「チャリティーゴルフ大会」が、6月22日(木)富士カントリー笠間倶楽部において、今年も盛大に開催されました。

当日は天候にも恵まれ、各支部から会員・賛助会員合わせて106名が参加。27組が3コース(東・南・西)に分かれ、18ホールストロークプレー、ハンデ新ペリア方式で、日ごろ鍛えた腕前を披露し、熱戦を繰り広げました。

プレー終了後は、倶楽部2階レストランにおいて懇親会が開催されました。柴会長の挨拶のあと、チャリティー金20万円を、社会福祉法人同仁会「児童養護施設内原和敬寮」に寄付しました。その後、参加者全員で乾杯。引続き表彰式が行われました。

結果は、「個人の部」では初参加の筑波支部一色信宏氏が、「女子の部」では県央支部の市毛啓子氏が、「団体の部」では参加12チームの中から、筑西支部が優勝に輝きました。その

他、各個人賞やドラコン賞、ニアピン賞等も発表されました。

今年は、個人の部、団体の部ともに初優勝となり、パーティーは今まで以上の盛り上がりを見せました。

最後に、商品をご提供くださった会員及び賛助会の皆さま、ご支援をいただき大変ありがとうございました。次回もお誘い合せの上、多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

個人の部

優勝	一色 信宏 (筑波)	ネット69.4
準優勝	柴 直樹 (筑西)	ネット72.4
3位	小柴 浩和 (県央)	ネット72.4
ベストグロ	小暮 真一 (石岡)	グロス80

団体の部

		計
優勝	筑西	グロス365
準優勝	県央A	グロス367
3位	石岡	グロス375
4位	日立	グロス376
5位	土浦	グロス377

「第10回ボウリング大会開催」活動報告

平成29年8月26日(土) 水戸市グリーンボウル

第10回になりました建築士会恒例ボウリング大会。今年は各支部会員・賛助会員合わせて47名の皆様に参加していただきました。個人戦では県央支部の萩谷孝一氏が2ゲームトータルスコア301点で前年度に続き優勝!2連覇達成です。

団体戦では上位3名合計スコア814点にて桜川支部Bチームが優勝しました。

プレイ終了後は表彰式が行われ、柴会長の閉会の挨拶と共に大会の幕が閉じました。ご参加していた皆様、どうもありがとうございました。

個人の部	スコアは2ゲーム合計	
優勝	萩谷 孝一 (県央)	301
準優勝	古橋 明 (桜川)	280
3位	島田 哲 (石岡)	276
4位	比企 正信 (桜川)	276
5位	佐藤 哲夫 (県央)	257

団体の部	スコアはチーム合計	
優勝	桜川支部B	814
準優勝	県央+賛助会	803
3位	建築センターB	771



営業品目

コンクリート二次製品全般

函渠型側溝フリードレーン
大型積ブロック
浮上防止型グレーチング

公園資材

防災用かまど
防災用ベンチ
防災用シェルター
インターロッキングブロック
遊具一式

下水道用製品

耐震性スーパー BOX カルバート
アーチカルバート
ヒューム管カーブ用推進管
マンホール鉄蓋

建築資材

PHC パイル
地盤改良材



汚染土の仮置場処理対策製品
土木建築資材の総合商社

株式会社 **建友**

代表取締役 **根本 勇学**
専務取締役 **根 本**

本社 茨城県水戸市吉沢町 333-4 電話 (029) 247-8405 (代表) FAX (029) 248-0155
支店 茨城県銚田市造谷 1529-99 電話 (0291) 37-1335 FAX (0291) 37-1335

E-mail:office@k-kenyu.co.jp

関東甲信越建築士会ブロック会 ” かながわ箱根大会 ” に参加して

■ 筑波支部 本間 信明

平成29年6月23日、24日箱根湯本富士屋ホテルにおいて開催された関東甲信越建築士会ブロック会”かながわ箱根大会”に参加してきました。

季節は梅雨でしたが、その日箱根の空は晴れ渡り、気持ちのいい朝でした。筑波支部の青年部として、初めて関ブロ青年協議会で発表することになりました。内容は、今年の4月23日に実施した、第一回パスタブリッジコンテストの活動報告です。発表を小菅 真幸さん、スライド補助を齊藤 保弘さんが担当。また当日は参加出来ませんでした。スライドを山本 剛大さんに制作してもらいました。仕事の合間の限られた時間に皆で協力し、発表に漕ぎ着けました。正午から全体会議が始まり、その後「過去から



未来へつなぐ”今”というテーマを基に、第一分科会の発表が始まりました。緊張感が張りつめる中、三番目に登壇、7分間の発表を実施しました。

その後テーブルディスカッションに移り、発表の補足や質疑を受けました。予想を超える人たちが、私たちの場に集まり、今後企画する上での質問や注意点など議論が交わされました。各地で未来の建築士を発掘するイベントが実施され、建築士の普及活動が活性化されていくと思われます。

残念ながら賞を取ることは出来ませんでした。筑波支部青年部の今後を担っていく部員に、貴重な経験と課題を伝えられたと思います。

第2分科会「30年後の 人々のための住まい」に参加して

■ 県央支部 藤田 康広

平成29年6月23日・24日、神奈川県箱根町にある「湯本富士屋ホテル」にて、「平成29年度関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会神奈川県大会」が開催されました。「継(つぐ)」という大会テーマの下、全体会議、分科会、懇親会が執り行われました。

茨城県建築士会からは、本年4月に行われた「第一回パスタブリッジコンテスト」について、筑波支部青年部が活動報告を行いました。近年では最多となる約700名の参加者の前で、コンテスト実施に向けた努力の様子と、得られた成果について堂々と述べられる姿に、多くの人に関心を寄せていました。発表後の意見交換会も大変賑わったと伺っています。



また、第二分科会では「30年後の人々のための住まい」というテーマで、各県ごとに異なる地域の課題を背景に、テーマに沿って作成された各案の講習会が行われました。講評は山本理顕氏が務めるとあって、注目度の高い分科会でした。茨城県建築士会からは、県央支部青年女性部が中心となり、「全国で最も県庁所在地の占める人口割合が少ない県＝中心を持たない県」という設定課題の下、住宅や建築に囚われない「地域の使い方」という観点で提案いたしました。順位はつけずに他県の取り組みを学び持ち帰る、という趣旨でしたが、他県の方と深く議論を重ねることができ、有意義な時間を過ごすことができました。



平成 29 年度 全国女性建築士連絡協議会（東京） 7/15（土）、7/16（日）開催

今回、「高齢者と住まい」というテーマの分科会に参加してきました。大阪府建築士会で長年取り組んで発行している小冊子「安心・安全・安らぎの家」の最新版の説明、兵庫県建築士会のユニバーサルデザイン研究会でのこれまでの取り組みの説明を受け、その後、各県の高齢者環境の問題点に取り組んでいることについて、さまざまな意見交換をしました。床の段差、手すりの取り付けなど具体的な問題点はもちろん、小冊子を作るにあたって士会の予算がないことやそのできた小冊子をどうやって啓発活動につなげるかなどそれぞれの意見を出し合いました。その中でも大阪府建築士会では、作った小冊子をできるだけ広めようと一般市民向けの講座や相談会を

開くなど頻繁に活動されており、そのような姿勢に学ぶことがあると感じました。また、設計にあたっては、家族やケアマネージャーとの連携を密にすることの重要性、病気の症例や進行によって変わっていく体の状態をくみ取ることが難しくもあり重要である。「高齢者と住まい」というテーマは終わりのない課題であることから日々取り組んでいけなくてはいけないところであると締めくくられました。

ところで、全建女は年1回開催されますが、北海道から沖縄県の方まで集まります。地方の訛りが飛び交い、皆さんフレンドリーで声を掛け合い、楽しい雰囲気です。来年は一緒に参加してみませんか。

「わくわくセミナー」 窓回り製品の特長を学ぼう！ タチカワブラインド ショールームの見学会

■ 土浦支部 赤木 香菜子

平成29年5月23日(火)に東京・銀座にあるタチカワブラインドのショールームを見学をしました。当日は、新橋駅集合で、私たちは担当になっていましたので、早目に行ったのですが、他の参加者さんたちがすでに集まってくださっており、皆さんの意識の高さに驚きました。

ショールームへ到着し、まず前半は座学でした。講師は、タチカワブラインド取手営業所所長の加藤泰生氏と古矢剛氏で、窓回り商品の種類や、それぞれの機能、また、新しく開発されたものの紹介など、詳しく教えてくださいました。近年開発されたブラインドは、スラット(羽根)に昇降コードを通す穴がないので、光漏れを防止でき、テレビやパソコン画面に映り込むチラつきも軽減できるというものでした。また、近年は、省エネの傾向により、窓からの熱損失を考え、昇降コードの穴のない生地を前後に2枚配し、空気層をもたせたプリーツスクリーン等も紹介していただき

ました。

後半は、実際にショールームに展示されている、ブラインドやスクリーンを操作しながら、それぞれ疑問に思っていることを質問させていただきました。また、遮光性や断熱性を実験できるブースもあり、目で見、手で触って、窓回り製品の性能を確認することができました。

ショールームでのセミナーの後は、銀座にランチへと繰り出しました。スタッフの方に事前に教えていただいていたイタリアンレストランで、情報交換をしながら、優雅なひと時を過ごしました。帰りには、個人的に、ギンザシックスに立ち寄りました。まだオープンして1ヶ月足らずということもあり、平日なのに混み合っていて、何も買うことはできませんでしたが、屋上庭園を散策して帰宅し、有意義な1日となりました。



わくわくセミナー「市街化調整区域内に家を建てなくてはならない場合の申請」

■土浦支部 若柳 綾子

7月のワクワクセミナーは“市街化調整区域内に家を建てなくてはならない場合の申請業務について、出来るだけスムーズに進められるためのコツを学ぼうという企画でした。普段から多くの難題を手掛け、解決力が評価されている大山文男氏を講師に迎え、その機微について、法令編・実務編に分けて説明して頂きました。

まずは都市計画の概要や用語の説明などから始まり、土地や建てる人の特性・建築用途をどのように分類してどういう法律に照らし合わせていくのか。区域指定や県条例の捉え方の説明もありました。そしてそれに掛かる、所要時間・必要書類・検討項目・その他審査基準などについて、資料をもとに分かり易く話し

て頂きました。

少しの休憩後、第2弾は実務編です。開発行為の一体性・農転許可・43条許可、小規模開発行為・雨水浸透施設・途中の変更への対応などキメ細かい説明が流れるように続きます。テンポが速いので1日の業務のあとにも関わらず、睡魔は寄り付きませんでした！皆様大変真剣に聴講され、日頃の疑問についても質問されていました。行政庁毎の解釈の違いなどの事例も紹介され、答えが一つではない難しさも少し理解できたようでした。

今後少しでも、日々の業務の役に立てたら良いと思います。有意義で、楽しい勉強会でした。



「わくわくセミナー」 「水回り最新情報について」

■土浦支部 池田 由紀代

6月20日(火)、つくば市研究学園にあるLIXILショールームにて、水回り最新情報のセミナーを行いました。生活する上で、特に多くの道具、機能などが詰め込まれている「水回り」。使い易いだけでなくデザインも洗礼され、空間にマッチする、よりお洒落なタイプがたくさん発表されています。カタログではチェックしきれない部分を、体で感じとりながら最新の情報を学びました。

まずは、映像やカタログで新商品の説明を受けました。トイレ、洗面、ユニットバス、キッチンです。参加者の中には、これを見たかった、と予め確認事項を決めて参加してくれた方もいて、実物を見るのをわくわくして待つ

ていてくれました。特に注目だったのは、黒いトイレと黒色のキッチン。座ったり、なでたり、中を覗いたり、開けたり、閉めたり。皆、それぞれの方法で新商品のチェックをしていました。また、とてもゴージャスなユニットバスの機能には、ため息がもれるほどでした。どこかのセレブになった・・・なんて妄想をしてしまいそうでした。最後に、LIXILが取り組んでいる「みんなにトイレをプロジェクト」についてお知らせを受けました。簡単にいうと「新興国のトイレ環境を整える、つまり世界の衛生環境改善への取り組み」です。詳しくはLIXILのHPに記載されています。素晴らしい取り組みだと思っので、興味のある方は見て頂けたらと思います。

ラブアークセミナー 「地盤についての勉強会」

■ 行方支部 金子 雅代

東日本大震災の直後はいかに地盤が大事かと再認識したはずでしたが、6年の月日が流れると地盤への関心も薄れがちになって来ていました。

まず地盤を知るには土の性質・構造・種類・起源を知る必要があります、更に地盤調査の前には予備調査として地形の概要に関する把握・自然災害の把握・地下水の有無や流動経路の把握等もしておいたほうが良いとの事でした。地盤情報レポートサービス等を活用すると様々な地盤の情報を重ねて閲覧出来、PDFでレポートを出力する事が出



来ます。

地盤調査の方法もそれぞれの方法を説明して頂き、地盤解析、結果の見方、そしてその後の地盤改良補強工事の種類とそれぞれの長所・短所、トラブル事例を上げての施工時の現場での監理ポイントを説明して頂きました。

地盤保証制度についても細かな情報、分かり易い説明がありました。

もう一度地盤について考える良い機会となりました。



ラブアークセミナー もっと知ろう!【県産材】について

■ 行方支部 大谷 美由紀

平成29年7月12日(水)に茨城県総合福祉会館にて、ラブアークセミナーが開催されました。講師に、株式会社茨城木材相互市場の木材営業部長、鈴木裕二氏をお招きし、「茨城県産木材(県産材について)」の講義をしていただきました。

県北部では茨城県の代表的な林業地帯が形成されており、主にスギ・ヒノキの木材生産が行われています。山には材齢の高い木が多いことから、木材利用を促進することが必要となっているというお話でした。

県内の原木の生産は、平成15年以降増加傾向にあるものの、県内での利用量は生産量のうち半分以下にとどまり、半分以上は栃木・福島などの県外に移出しているとのことでした。

茨城県は降雪がほとんどなく、台風の上陸も少

ないため、県産材は根曲がりやシミのない年輪の細かい素直な木であるということ、品質が良く、強度的にも安定している材料であること等教えていただきました。

その他、県産材の規格化や設計価格表の整備などの動向、「いばらき木づかいの家推進事業」による、住宅の新築および今年度から始まった住宅リフォームに対しての助成制度のお話しなど大変参考になりました。

今回のセミナーは一番身近な県産材について知ることのできる良い機会でした。木造住宅のすべての部材を150km圏内で調達した場合のCO2排出量は、一般的な住宅の1/5となる試算もあるそうです。品質そして環境面からも県産材は評価されるべきだと思います。

富士カントリー笠間倶楽部 

おかげさまで
みなさまに愛されて38年

〒309-1602

茨城県笠間市池野辺 252 3 番地

TEL 0296-72-8111

FAX 0296-72-8534

URL <http://www.kasama-club.com>

※オンライン予約も承っております



IGフェアー 2017 展示会見学と豪華ホテルでランチブッフェと 特別講演会参加の一日でした!

平成29年7月4日(火) アイジー工業株式会社 [建材メーカー] (金属サイディング、金属屋根材メーカー) がIGFAIR (アイジーフェア) 2017と銘打ち2017年発売の新商品を一堂に展示するフェアが東京で開催されるのに合わせて日立支部の企画委員会で一日研修会を行った企画です。

当日はアイジー工業で新商品の展示、新商品研修、特別講演会 {そうだったのか京都迎賓館} 講師: 佐藤義信氏 (株式会社日建設計設計顧問) への参加が午後から夕方までのメインイベントで設定されていたので、それに合わせ朝、日立駅に集合してからバス一台に乗車し出発、フェア参加定員がコラボ企画の都合により15名限定となった企画ですが、参加者が直ぐに定員になりキャンセル待ちが出る程でした。(行けなかった方には次回優先して行けるようお願い致しました)

午前中の1つ目の見学場所へいざ常磐高速道で移動です。

見学場所の決定過程も今回は初めての試みで、日立支部会員各位様へは案内状でお知らせ

し、午前中の見学場所をリクエスト方式とする事にしました。見学場所4か所を事前選定し参加される方に投票して頂き一番希望が多かった場所を見学する事にしました。

投票の結果は、両国国技館日本相撲協会内の相撲博物館見学に決定しました。

予定時間に到着し、国技の相撲関連の展示を改めて見学し楽しい時間を過ごしました。

そこから昼食の場所へ移動です。品川プリンスホテル内: レストラン「ハプナ」 {水と癒しとスローブッフェを楽しむ大人の空間というキャッチフレーズ} でお洒落で華やかなランチブッフェで皆お腹一杯食べて、これまた楽しい時間を過ごしました。

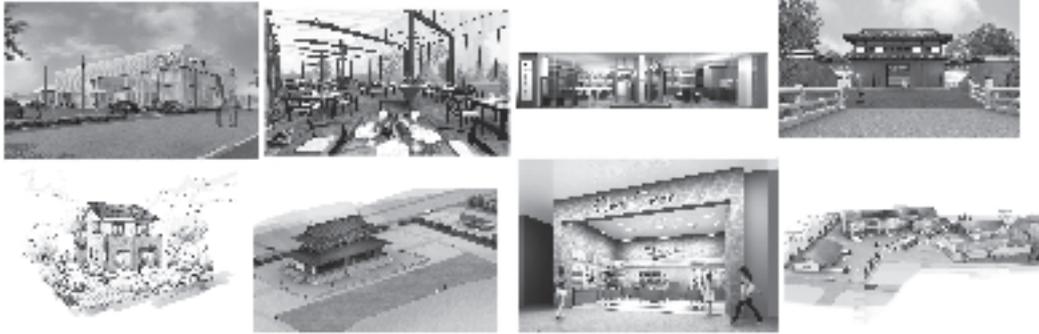
参加の方々から今回の様な楽しく研修できる企画をまた続けて・・・と多数、要望されましたので次回の計画を立てています是非支部の皆様ご参加ください。

最後に今回日立支部の研修会にご協力して頂きましたアイジー工業株式会社様に深く御礼申し上げます。

水戸市新庁舎 見学会 第1弾！ ～免震装置取付工事～

8月28日、水戸市新庁舎の現場見学会が執り行われました。参加した20名の会員にとっては、中々目にする事の出来ない大規模プロジェクトの迫力とその施工技術に、大変な刺激を受ける機会となりました。新庁舎は免震構造を採用されていますが、見学会では積層ゴムやオイルダンパーなどの免震要素が、まさに設置された直後の生々しい様子を拝見することができました。見学会の冒頭には、大成JVの加藤副所長様より最新の免震構造建築物施工に関する工夫、技術をご説明頂きました。免震構造を採用すると、特に支承復元材である積層ゴムとその周辺部材の施工に密な精度が求められますが、今回は事前に建築現場内で製造し、組み立てるプレキャスト工法を採用されたそうです。在来工法よりも費用はかかりますが、工期が大幅に短縮でき、免振装置ベースプレートの下裏部に確実にコンクリートを充填させられること、また精度の高い工法からアンカーボルトや柱配筋が複雑に入り組む箇所でも安全で確実に作業ができる、といった利点から採用されたというお話でした。建築の構造形式も特徴があり、今回拝見した柱頭での免震の他、上部構造においてもプレキャスト工法による床の施工や、15mの大スパンをプレストレスト梁で実現するなど、今後も施工難易度の高い、ダイナミックな工事が続いていくそうです。注目度が高く、また建築的にも多くの要素が盛り込まれた建築であり、今後出来上がっていくのが非常に楽しみです。





KROスタジオ

KOTOBUKI RENDERING DESIGN STUDIO

茨城県建築士会・茨城県建築士事務所協会賛助会員

寿レンダリングス建築パーススタジオ

〒311-4141 茨城県水戸市赤塚1丁目385-31

TEL 029・246・6588

mail:kotobuki-r@nifty.ne.jp

http://kotobuki-r.com/

各種パース製作、お気軽にご相談ください。



水戸市立見川中学校



撮影 アートフォトTANII

設計・工事監理



株式会社 桜設計事務所

代表取締役 山田博通

〒310-0851

水戸市千波町1239 ☎029(241)8441

☎029(241)8579

E-mail:cnsakura@cocoa.ocn.ne.jp (代表)

全国の建築士会で受講できます!

改正宅地建物取引業法に対応した



既存住宅状況調査 技術者講習のご案内

改正宅建業法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには
この講習会を修了し、登録されることが必要です。

「既存住宅状況調査」は新たな建築士業務です!!

平成28年6月に宅地建物取引業法が一部改正され、
平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」に関する説明が義務付けられます。
そして、既存住宅状況調査の実施は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められており、
建築士の新たな業務として期待されています。

【従来の建築士会インスペクター登録との違い】

従来のインスペクター登録は、長期優良住宅化リフォーム推進事業における現況検査を行うためのものであり、既存住宅状況調査は実施できません。ただし、従来のインスペクター登録者を対象として、規定の講習の一部を免除した「移行講習」を設けております。なお、建築士会以外の団体に登録している従来のインスペクターの方でも、本講習を受講することで既存住宅状況調査技術者の登録が可能です。

【全国の建築士会が講習会を実施】

日本建築士会連合会は、既存住宅状況調査技術者講習団体として国土交通省に登録されました。今後、全国都道府県の建築士会が講習会を実施する予定です。
建築士の方はぜひこの機会に建築士会の講習を受講いただき、新たな建築士業務の資格を取得してください。

メリットの講習

- ①建築士だけに認められた業務である「既存住宅状況調査」の技術を幅広く習得
国土交通省告示「既存住宅状況調査方法基準」に基づく調査方法や、関係法令、調査報告書の記載方法などの幅広い知識を身につけることができます。
- ②公益社団法人に登録することにより高い信頼性を消費者等へアピール
本講習修了者は、建築士法に基づく公益社団法人である日本建築士会連合会のホームページで公表しますので、消費者等へ高い信頼性をアピールできます。
- ③既存住宅状況調査結果を活用した既存住宅売買瑕疵保険への加入が可能
- ④長期優良住宅化リフォーム推進事業における現況検査も可能となる予定
- ⑤建築士会CPD5単位(移行講習は3単位)を付与
講習修了者には、官公庁の設計・工事入札に活用できる建築士会CPD単位を付与します。

『新規講習』のご案内

CPD5単位

受講対象 一級、二級、木造建築士
講義1(2時間)+講義2(3時間)+修了考査(50分)
▼受講料 21,600円【WEB申込:21,060円】(税込)
(テキスト・修了証明書交付費用・登録料を含む)

▼講座内容

講義1(120分)	既存住宅流通市場の現状と国の取り組み状況 既存住宅状況調査技術者の役割 既存住宅状況調査の概要 公正な業務実施のための遵守事項 既存住宅状況調査の手続き 情報の開示(10分) 既存住宅売買時における調査結果の活用
講義2(180分)	既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その1) 既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その2) 既存住宅状況調査に付随する非破壊検査その他の調査 検査機器 調査報告書の記入 住宅の瑕疵の事例
	修了考査

『移行講習』のご案内

CPD3単位

受講対象 国土交通省の長期優良住宅化リフォーム推進事業のインスペクターとして講習登録団体に登録されている建築士(一級、二級、木造)
※建築士会登録以外の、他団体登録インスペクターの方でも受講できます。
講義1(1時間)+講義2(2時間)+修了考査(50分)

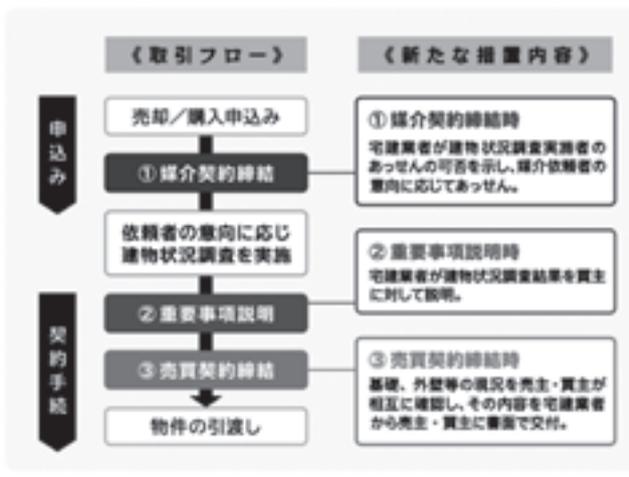
▼受講料 17,280円【WEB申込:16,740円】(税込)
(テキスト・修了証明書交付費用・登録料を含む)

▼講座内容

講義1(60分)	既存住宅流通市場の現状と国の取り組み状況 既存住宅状況調査技術者の役割 既存住宅状況調査の概要 遵守事項、調査の手続き、情報開示 既存住宅売買時における調査結果の活用
講義2(120分)	既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その1) 既存住宅状況調査方法基準とその詳細(その2) 既存住宅状況調査に付随する非破壊検査その他の調査 検査機器 調査報告書の記入 住宅の瑕疵の事例
	修了考査

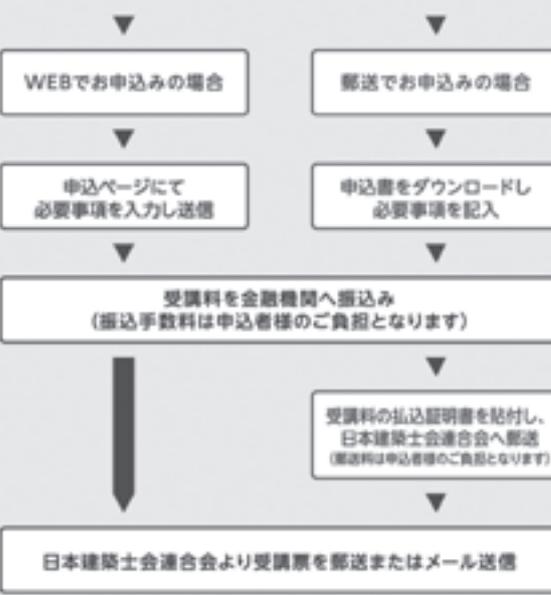
(公社)日本建築士会連合会は、改正宅地建物取引業法に対応した「既存住宅状況調査技術者講習」を全国で実施します!

- 宅地建物取引業法の改正に伴い、平成30年4月から建物状況調査等に関する措置が施行されます。平成28年6月、宅地建物取引業法が改正され、売主・買主が安心して既存住宅の取引ができる市場環境を整備することを目的に、既存建物の取引に係る情報提供の充実に関する以下の三つの措置が講じられました。これらの措置は、平成30年4月から施行されます。



- 講習修了者には、修了証明書と既存住宅状況調査技術者カード(顔写真入り)を交付します。
※講習修了者の氏名、勤務先等を日本建築士会連合会のホームページで公表します。

「日本建築士会連合会」のホームページをご確認ください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp>



『新規講習』のご案内

CPD5単位

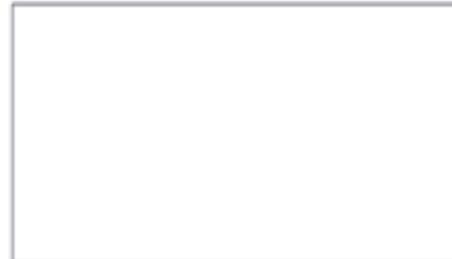
- 日程：平成29年11月10日(金)
- 時間：受付 9:20～ 講習 9:50～17:20
- 定員：200名 申込受付順、定員に達し次第締切ります。
- 会場：茨城県建設技術研修センター——土浦会場は、国民宿舎「水郷」です
(水戸市青柳町4193番地)
- 受講者：建築士(一級、二級、木造)のみが対象となります。
- 受講料：21,600円【WEB申込:21,060円】(税込、テキスト・登録料を含む)



『移行講習』のご案内

CPD3単位

- 日程：~~平成29年8月22日(火)~~
- 時間：受付 12:30～ 講習 12:50～17:15
- 定員：100名 申込受付順、定員に達し次第締切ります。
- 会場：茨城県建設技術研修センター
(水戸市青柳町4193番地)
- 受講者：国土交通省の長期優良住宅化リフォーム推進事業のインスペクターとして講習登録団体に登録されている建築士のみ対象です。
※建築士会登録以外の、他団体登録のインスペクターの方でも受講できます。
- 受講料：17,280円【WEB申込:16,740円】(税込、テキスト・登録料を含む)



【お問い合わせ】 日本建築士会連合会 TEL: 03-3456-2061

マルキプロパン Marui Gas

One IMAGE ~ One HEART

「全ての活動はお客さまのために」



マルキガスイメージキャラクター
「マッピー」

マルキガスは1953年から販売を始め、現在310万世帯を超える全国のお客さまに、ご利用いただいております。

私たちはこれからもお客様の視点に立って、「LPガス事業基盤の強化」と
様々なニーズを満たすことのできる“生活総合サービス事業者”を目指してまいります。



全国で展開する信頼の「Marui Gasブランド」



LPガスを使った
炊き出し訓練

有事に備え毎年訓練を行っている「Marui Gas災害救援隊」



災害時に備え全国で整備を進める
「LPガス基幹センター」



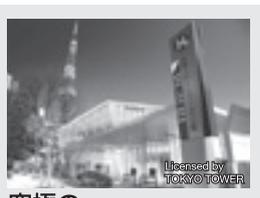
東日本大震災での救援活動

「Marui Gas」災害救援隊
被災地会員の支援を目的とし、LPガスの復旧やガス機器の安全点検を行うための全国組織。約3600名の有資格者で構成され、地震や水害など多数の出動実績があります。



「子ども110番」活動

営業車や配送車、お店が一体となって地域の子どもたちを見守り保護することで、地域住民の安心に役立っています。



究極の
クリーンエネルギー「水素」
IwataniはLPガスの先にある究極のエネルギー「水素」に着目。水素をエネルギーとして活用する社会の実現を目指す一環で、水素ステーションの設置を推進しております。

ガス&エネルギーで未来を拓く

Iwatani

岩谷産業株式会社
エネルギー茨城支店

〒300-0034 土浦市港町1-7-23 TEL (029) 823-3811



設計 & 監理

株式
会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階
TEL.029-227-0222[代]
FAX.029-231-0960



一般社団法人
茨城県建築士会
<http://i-shikai.com>

